

育 児 時 短 勤 務 手 当 金 請 求 書

※ 決 定 額

円

組 合 員 等	記 号	〇〇〇	組 合 員 氏 名	共 済 花 子		所 属 機 関 名	〇〇市	
	番 号	〇〇〇	生 年 月 日	昭和 平成	〇 年 〇 月 〇 日	(所在地)	〇〇市〇〇町〇丁目〇	
育 児 時 短 勤 務 開 始 時 の 標 準 報 酬 月 額			第 22 等級		300,000	円	同 一 の 育 児 時 短 勤 務 に つ い て 雇 用 保 険 法 の 規 定 に よ る 育 児 時 短 就 業 給 付 金 等 の 支 給 の 有 無 (注 1)	有 ・ 無
育 児 時 短 勤 務 に 係 る 子 の 生 年 月 日			令和 〇 年 1 月 15 日					
育 児 時 短 勤 務 の 開 始 年 月 日 及 び 終 了 予 定 年 月 日			令和 〇 年 4 月 5 日 ～ 令和 〇 年 8 月 31 日					
育 児 時 短 勤 務 手 当 金 請 求 期 間			令和 〇 年 4 月 5 日 ～ 令和 〇 年 4 月 30 日					
勤務時間等について (太枠内は所属所担当者が記入してください。)								
育 児 時 短 勤 務 を 開 始 す る 前 の 1 週 間 の 所 定 勤 務 時 間			38.75 時間					
支 給 対 象 月 (注 2) 中 の 1 週 間 の 所 定 勤 務 時 間			28.75 時間					
支 給 対 象 月 (注 2) に 支 払 わ れ た 報 酬 の 額			260,000 円 (1 月 当 た り の 通 勤 手 当 等 の 額 を 含 む。)					
そ の 他 報 酬 に 対 す る 特 記 事 項			通勤 手当：有 ・ 無 └ 1 月 当 た り の 通 勤 手 当 の 額：3,500 円 _____ 手当：有 ・ 無 ※寒冷地手当等 └ 1 月 当 た り の _____ 手 当 の 額：_____ 円					
※算出方法等については、標 準報酬月額等の決め方と同様 の取扱いです。								
上記のとおり請求します。								
愛媛県市町村職員共済組合理事長 様 令和 〇 年 5 月 15 日 住所 〇〇市〇〇町〇〇丁目〇ー〇 請求者 氏 名 共 済 花 子								
上記の記載事項に誤りがないことを確認しました。 令和 〇 年 5 月 16 日 所属機関の長 職 名 〇〇市長 氏 名 〇〇 〇〇								

※印欄は、記入しないでください。

※育児時短勤務手当金計算書

(1) 支給の可否

報酬の額 支給限度額

① () 円 () 円

(2) 支給割合の算定

標準報酬月額 基準報酬月額相当額

② () 円 () 円

標準報酬月額または基準報酬月額相当額 標準報酬月額の90%の額

③ () 円 × 90 % = () 円

報酬の額 標準報酬月額の90%の額

() 円 () 円

(3) 支給額の計算

報酬の額 算出額①

④ () 円 × % = () 円

算出額① 支給下限額

⑤ () 円 () 円

報酬の額 算出額① 支給限度額

⑥ () 円 + () 円 () 円

支給限度額 報酬の額 算出額②

⑦ () 円 - () 円 = () 円

(4) 給付決定額

() 円 (1 円未満切捨て)

(注1) 同一の育児時短勤務について、雇用保険法による育児時短就業給付金、高年齢雇用継続基本給付金または高年齢再就職給付金の支給を受けることができるときは、支給しない。

(注2) 「支給対象月」とは、組合員が育児時短勤務を開始した日の属する月から当該育児時短勤務を終了した日の属する月までの期間内にある月（その月の初日から末日まで引き続いて組合員であり、かつ、育児休業手当金または介護休業手当金の支給を受けることができる休業をしなかった月に限る。）をいう。

〔留意事項〕

1 この請求書は、育児時短勤務を行った月経過後に、育児時短勤務を行った月ごとに提出してください。

2 「育児時短勤務開始時の標準報酬月額」欄は、育児時短勤務を開始した日の属する月における標準報酬月額について記載してください。

3 「育児時短勤務の開始年月日及び終了予定年月日」欄の終了予定年月日は、育児時短勤務に係る子が2歳に達することにより育児時短勤務手当金の支給が終了する場合には、当該子の2歳の誕生日の前々日を記載してください。

なお、育児時短勤務が終了した場合は、終了予定年月日の「予定」を二重線で消除し、当該終了した日（新たに産前産後休業、介護休業または育児休業を開始した場合は、当該開始した日の前日）を記載してください。

4 「育児時短勤務を開始する前の1週間の所定勤務時間」欄は、育児時短勤務に入る前の本来の1週間の所定勤務時間を記載してください。

5 「支給対象月中に支払われた報酬の額」欄は、支給対象月に支払われた報酬（臨時のもの及び3か月を超える期間ごとに支払われるものを除く。）の額を記載してください。また、通勤手当が数か月分一括して支給される場合は、通勤手当額を支給月数で除して得た額を報酬額に含めてください。

なお、寒冷地手当等が支給される場合は、支給月額に支給月数を乗じて得た額を12で除して得た額（円位未満切捨て）を報酬額に含めてください。

6 「その他報酬に対する特記事項」欄は、通勤手当がある場合には1月当たりの通勤手当の金額及び支給単位期間を記入してください。また、寒冷地手当等がある場合には、1月当たりの金額を記入してください。

〈寒冷地手当1月当たりの金額の計算例〉 支給月額(円)×支給月数(月)÷12月＝1月当たり金額(円位未満切捨て)

7 この請求には、次の書類を添付してください。

(1) 「育児時短勤務手当金請求に係る添付書類一覧」及び当該書類に記載の該当する必要書類を添付してください。

(2) 支給対象月中の1週間の所定労働時間及び支給対象月に支払われた報酬の額についての所属機関の長または給与事務担当者の証明書